



平成30年5月7日

各位

会社名 株式会社パスコ
代表者名 代表取締役社長 古川 顕一
(コード：9232 東証第1部)
問合せ先 取締役財務本部長 重盛 政志
(TEL. 03-5722-7600)
親会社 セコム株式会社 (コード：9735)

**通期連結業績予想の修正及び通期個別業績予想
並びに営業外費用、特別利益の計上に関するお知らせ**

平成30年2月7日に公表いたしました平成30年3月期（平成29年4月1日～平成30年3月31日）の通期連結業績予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

併せて、通期個別業績の予想値については開示しておりませんでした。今般、前期実績値との対比においてその差異が適時開示の基準に達する見込みとなりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 通期連結業績予想の修正について

(1) 平成30年3月期通期連結業績予想の修正（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------------------------|--------|-------|-------|-------------------------|----------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想 (A) (平成30年2月7日発表) | 50,000 | 1,500 | 1,300 | 600 | 8.32 |
| 今回修正予想 (B) | 51,067 | 2,050 | 1,890 | 1,000 | 13.87 |
| 増減額 (B-A) | 1,067 | 550 | 590 | 400 | |
| 増減率 (%) | 2.1 | 36.7 | 45.4 | 66.7 | |
| (ご参考) 前期実績 (平成29年3月期) | 51,766 | 1,186 | 938 | △524 | △7.27 |

(2) 連結業績予想の修正理由

売上高は、前回予想と比較して2.1%程度の微増見込みですが、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、売上増の他、国内公共部門の生産業務効率化に伴う採算性の改善、子会社における設計案件の利益寄与等により前回予想を上回る見通しです。

2. 通期個別業績予想について

(1) 平成30年3月期通期個別業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|--------|-------|-------|--------|----------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前期実績 (A) | 43,254 | 951 | 870 | △1,185 | △16.40 |
| 当期予想 (B) | 42,540 | 1,502 | 545 | 24 | 0.34 |
| 増減額 (B-A) | △714 | 551 | △324 | 1,209 | |
| 増減率 (%) | △1.7 | 58.0 | △37.3 | — | |

(2) 前事業年度実績と差異が生じた理由

売上高は、海外案件の一部を完成基準に変更した影響（約4億円の減少）等により、前期実績を下回る見通しです。

営業利益につきましては、前期に海外部門の工事損失引当金を約7億円原価計上した影響もあり、前期実績を5.5億円上回る見通しです。

経常利益は、当期に海外子会社の業績が悪化したことから営業外費用に関係会社への貸付金及びその他の債権に対する貸倒引当金繰入額を約10億円計上する見通しとなったため前期実績を下回る見通しです。

当期純利益は、前期に衛星事業における衛星運用ソフトウェア及び衛星受信関連設備の減損損失を13.5億円計上した影響により、前期実績を約12億円上回る見通しです。

3. 営業外費用、特別利益の計上について

平成30年3月期個別決算におきまして、下記のとおり営業外費用及び特別利益を計上する見込みとなりましたので、お知らせいたします。

(1) 関係会社への貸付金及びその他の債権に対する貸倒引当金繰入額の計上（個別）

海外子会社の業績が悪化したことから、当社の以下の子会社に対する貸付金及びその他の債権に対し貸倒引当金繰入額1,022百万円を営業外費用に計上する見込みであります。

| 会社名 | 貸倒引当金繰入額 |
|---------------------------------------|----------|
| ① Aerodata International Surveys BVBA | 964百万円 |
| ② PASCO China Corporation | 58百万円 |

なお、関係会社への貸付金及びその他債権に対する貸倒引当金繰入額は、個別財務諸表のみで計上されるものであり、連結決算では消去されるため、連結損益への影響はありません。

(2) 固定資産売却益の計上

保有資産を有効活用するため、当社が保有していた土地・建物の売却により、固定資産売却益319百万円を特別利益に計上する見込みであります。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上